

11月19日(火)は、2019年度 第2回学校説明会 他校にない独自の教育実践をわかりやすく

①伝統構法を取り入れた実習棟実習、②飯能・秩父、奈良宿泊研修、③卒業制作・・・



学校説明会ではまず、なぜ「働きながら学ぶ」という仕組みを採用したのか、説明します。ドイ

「建築の仕事に就きたい」「建築の面白さを学びたい」と思う若者がまず思い浮かべるのは、大学の工学部建築学科でしょうか。入りやすさという点では建築系専門学校も魅力です。その中で、職業訓練校に分類される東京建築カレッジは異色の進路と言えます。しかし、ここでも学べないことが確かにあります。ここでしか出会えない仲間もいます。学校説明会では独自の教育実践、学校の特徴をわかりやすく説明します。お気軽にご参加ください。

ツにおけるマイスター制度を参考に、現場で様々なことを経験しながら、一定期間の集合教育で学ぶスタイルが教育効果を上げるという考え方が根底にあります。そして、他校にはない独自の教育実践を紹介します。

第一は、大工手道具の扱い方から始まる実技実習です。原寸大2階建ての実習棟実習は、再評価されている伝統構法を取り入れて実施します。木造軸組み構法の魅力を体感できる

第二は、年1回の宿泊研修。特に奈良研修では現地の文化財の修復現場を間近で見学できます。開校以来、23年間も続けているのはおそらく世界でただ一つ、東京建築カレッジだけです。

第三は、卒業制作。大工建築学科の卒業設計に相当するものです。学んだ成果を生かし自由テーマで原寸に近い大きな構造体づくりに挑戦できるのは大変貴重な機会です。（上写真は第22期生の卒業「多宝塔」班）



10月17日（木）放送のNHK-BS『密着ドキュメント よみがえる熊本城』で、復旧プロジェクトに参加する本校卒業生、三嶋康稔さん（第9期生）の仕事が紹介されました。東京建築カレッジで学んだ技術・技能は熊本城の復旧にも確かに生きています。

NRBS「密着ドキュメント よみがえる熊本城」
第9期生 三嶋康稔さん出演

カレッジ通信

編集・発行

東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎！

TEL
03-
5950-1771

第2回 学校説明会

- ◇日時：11月19日（火）
昼の部（午後2時から）、夜の部（午後7時から）
- ◇会場：東京建築カレッジ池袋校舎
豊島区池袋1-8-6
- ◇所要時間：1時間半程度
- ◇持ち物：筆記用具

第2回 応募締切

入学願書等 11月28日（木）必着

第2回 入学選考会

- ◇日時：12月3日（火）
午前9時30分開始（午前9時受付開始）
- ◇会場：東京建築カレッジ池袋校舎
豊島区池袋1-8-6
- ◇持ち物：筆記用具、定規（目盛り付き）
- ◇選考内容：
筆記試験、集団面接、個別面接
作文テーマ『建築の仕事と自分の抱負』
働きながら学ぶことへの意欲を第一に、総合的に判断します。

カレッジの先生ってどんな人 第4回

「CAD設計演習」他 情報系授業 担当：

しぎょう
執行 香織さん

こひつじ商事(株) 不動産コンサルタント



――カレッジ講師はいつから？

第1期生から担当させていただいています。職業能力開発総合大学の秋山哲夫先生から「新しくできる学校でCAD（コンピューター支援設計）の講師を探している」という話があり、当時は池袋近辺に住んでいたのでお受けしました。初期のカレッジ生は同世代、型破りな人が多く、学校全体に活気がありました。



リフォームの提案力向上も授業の力点

――CAD教育で大切にしていること。

大工道具と同じ大事な道具です。CADは、自分が何を作りたいか、人に伝えるために欠かせない道具。パソコン操作入門から授業を始め、卒業までにフリーソフトの「Jw-cad」と、比較的安い「3Dマイホームデザイナー」を使いこなせるようになることを目標にしています。使い方だけでなく、住宅設計のセンスを磨けるような授業を心掛けています。練馬に実際にある敷地100平米程度の住宅のリフォームプランを考えさせる授業などです。

――来年4月、どのような新入生を迎えたいですか？

何か一つで良いので夢中になれることを持っている人、良い意味で「偏り」のある人に出会いたいですね。それが人の魅力の原石だと思うので。

1年生の授業から 「建築法規」始まる

1年生（第24期生）の授業は10月25日、「建築法規I」が始まりました。黄色い分厚い本、井上書院の『建築関係法令集』の最新版が一人1冊渡され、まずは①「建築基準法」、②「別表」、③「建築基準法施行令」により構成される「建築基準法」とはどういうものか、分かりやすい事例学習からスタートです。

力を実感させる

一方、「構造力学実験」の授業は「見えない『力』が見える人になる」を目指し、4ミリのミノキの棒を接合させて中心集中荷重20kgに耐えられる構造模型

作りを進めています。数式の丸暗記に陥りがちな構造力学でゲーム性を取り入れているのはカレッジならでは工夫です。11月8日の授業で全員が実験用の模型を完成

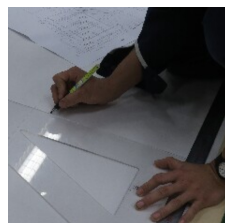


法令集に慣れるところから・・・

2年生の授業から

きく 規矩術演習

2年生（第23期生）の実技実習・規矩術演習が10月26日、「棒隅木」に突入しました。夏から「朝顔箱」、「風呂イス」、「四方転び踏み台」の順に学習し、この学校で最後の課題が「化粧棒隅木」の完成です。まずは構造を理解し、白紙の模造紙に原寸図を正確に描くところから授業が始まります（＝写真）。



現代の住宅建築ではプレカット材が主流となり、大工による墨付け・刻み作業が少なくなっています。このため、規矩術の基本がわからないまま作業をしている職人が増えています。そこで、建築カレッジでは規矩術の初歩の学習を重視しています。